

令和 6 年度補正 錦川鉄道生活交通改善事業計画（鉄道軌道安全輸送設備等整備事業）

1 事業の目的・必要性

錦川清流線は、過疎化・高齢化の進む沿線地域において通勤・通学・通院等の住民生活を支える重要な交通手段となっているが、旧国鉄岩日線川西～河山間の開業以来 60 年以上が経過し施設全体の老朽化が進んでいる。

ケーブル交換、橋りょうコンクリート補強、レールの交換【同種更新】、マクラギの交換【PCマクラギ化・同種更新】、道床補充【MTTによる総つき固め】、橋りょう橋側歩道新設を行う事により、近年頻発する異常気象による自然災害に対する災害対応能力を強化し防災・減災に努めるとともに、輸送の安全を保つ必要がある。

また、車両の車輪交換を実施することによって、輸送の安全の確保を図る。

2 事業の定量的な目標及び効果

錦川清流線は、開業以来赤字経営を余儀なくされており（令和 5 年度経常損失 127,824 千円）、損失補てん等のために積み立てた基金の減少も著しい（開業当初 660,000 千円から令和 5 年度末 33,789 千円に減少）。

こうした中、鉄道施設総合安全対策事業費補助（鉄道軌道安全輸送設備等整備事業）等を活用し、老朽化した鉄道施設の更新を行うことにより災害対応能力を強化し防災・減災に努めることで、13 万 1 千人（令和 5 年度年間利用者）の輸送の安全を向上させる。

3 事業の内容と当該事業を実施する事業者

別紙 1 に記載

4 事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額

令和 6 年度補正事業費（国補正予算追加要望） 80,290 千円

負担額 国	:	26,763 千円（負担割合	33.33%
山口県	:	5,050 千円（負担割合	6.29%
岩国市	:	15,150 千円（負担割合	18.87%
錦川鉄道	:	33,327 千円（負担割合	41.51%

5 計画期間

別紙 1 に記載

6 協議会の開催状況と主な議論

令和 6 年 5 月 24 日（第 1 回） 事業内容、費用負担について議論
費用負担を含む計画全体について合意

令和 7 年 2 月 18 日（第 4 回） 事業内容、費用負担について議論
費用負担を含む計画全体について合意

（協議会の構成）

「岩国市地域公共交通活性化再生法協議会委員名簿」のとおり

岩国市地域公共交通活性化再生法協議会
令和 7 年 2 月 日

事業実施事業者名:錦川鉄道株式会社

鉄 道 軌 道 安 全 輸 送 設 備 等 整 備 事 業 計 画

別紙 1

計画期間 5 年

(単位:千円)

設備・保存費の区分	整 備 の 概 要															備 考
		令和6年度 (2024年度)						令和7年度 (2025年度)		令和8年度 (2026年度)		令和9年度 (2027年度)		令和10年度 (2028年度)		
		令和5年度補正(繰越)		令和6年度当初		令和6年度補正										
		事業費	整備対象箇所	事業費	整備対象箇所	事業費	整備対象箇所	事業費	整備対象箇所	事業費	整備対象箇所	事業費	整備対象箇所	事業費	整備対象箇所	
信号、通信線	ケーブル更新	24,800	南河内～北河内間 10K986m～12K450m L=1,464m			27,200	行波～北河内間 12K378m～13K850m L=1,480Km			30,300	河山～錦町間 30K950m～32K727m L=1,777Km	27,200	森ヶ原～清流新岩国間 3K950m～5K218m L=1,268Km	27,200	守内かさ神～南河内間 7K340m～8K590m L=1,280Km	
電子閉塞装置	制御盤改修	5,500	錦町構内 制御盤1台													
橋りょう	橋梁コンクリート補強					3,100	清流新岩国～守内かさ神 1箇所					3,100	守内かさ神～南河内 1箇所	3,100	森ヶ原～北河内 1箇所	
小 計		30,300		0		30,300		0		30,300		30,300		30,300		
レール	重軌条化	5,500	北河内～棕野駅間 14k439m～14k539m L=110m							6,600	行波～北河内駅間 11k299m～11k466m L=167m	6,930	森ヶ原～錦町駅間 1k900m～32k700m L=150m	6,930	森ヶ原～錦町駅間 1k900m～32k700m L=150m	
マクラギ	並マクラギをPCマクラギに更新	7,600	河山～柳瀬 28k460m～28k542m 64本			7,600	河山～柳瀬 28k662m～28k747m 86本			7,600	河山～柳瀬 28k000m～28k600m 80本	7,980	河山～柳瀬 28k000m～29k000m 80本	7,980	河山～柳瀬 28k000m～29k000m 80本	
橋りょう	橋側歩道新設					9,300	棕野～南桑 20k513m～20k533m L=19.6m									
マクラギ	木製マクラギの更新 【同種更新】	9,600	北河内構内 分岐マクラギ10本 根笠～河山間 並マクラギ210本			9,600	根笠～河山間 橋マクラギ46本 北河内構内 並マクラギ10本			9,600	森ヶ原～錦町間 320本	10,080	森ヶ原～錦町間 270本	10,080	森ヶ原～錦町間 270本	
レール	レールの更新 【同種更新】	1,200	行波～北河内間 13K300m～13K350m L=50m			1,200	清流新岩国～守内かさ神間 4K337m～4K370m L=33m			1,200	森ヶ原～錦町間 50m	1,260	森ヶ原～錦町間 50m	1,260	森ヶ原～錦町間 50m	
軌道道床	MTTによる総つき固め	13,290	清流新岩国～行波間 3K900m～9K700m L=2,900M			13,290	南河内～南桑間 9K500m～20K680m L=2,800M			13,290	森ヶ原～錦町間 2,850m	14,000	森ヶ原～錦町間 2,850m	14,000	森ヶ原～錦町間 2,850m	
車両	車両制御装置の更新	1,440	3001号 1両													
車両	重要部検査	23,790	3003号 1両							16,000	3001号 1両	17,000	3002号 1両	17,000	3003号 1両	
車両	全般検査	14,900	キハ40 1両					27,000	3004号 1両							
車両	車輪交換	3,450	3004号 1両			9,000	3002号、3003号 2両							4,500	3001号 1両	
小 計		80,770		0		49,990		27,000		54,290		57,250		61,750		
合 計		111,070		0		80,290		27,000		84,590		87,550		92,050		

注) 1. 「設備・保存費の区分」欄は、「鉄道軌道安全輸送設備等整備事業に関する運用方針」別表の工事内容の区分又は鉄道事業会計規則に基づき記載すること。

2. 計画期間内において実施する設備整備がない場合は、「事業費欄」に「0」を記載すること。

3. 必要に応じて、対象設備の図面、写真等を添付すること。

別紙 1

(単位:千円)

設備・保存費の区分	整 備 の 概 要	令和6年度補正分					
		全体		国	県	市	事業者
		事業費	整備対象箇所				
信号、通信線	ケーブル更新	27,200	南河内～北河内間 12K450m～13K850m L=1,396Km	9,067	4,533	13,600	0
橋りょう	橋梁コンクリート補強	3,100	清流新岩国～守内かさ神 1箇所	1,033	517	1,550	0
小 計		30,300		10,100	5,050	15,150	0
マクラギ	並マクラギをPCマクラギに更新	7,600	河山～柳瀬 28k000m～28k600m 64本	2,533			5,067
橋りょう	橋側歩道新設	9,300	北河内～棕野 20k514m～20k524m L=19.2m	3,100			6,200
マクラギ	木製マクラギの更新 【同種更新】	9,600	森ヶ原～錦町間 320本	3,200			6,400
レール	レールの更新 【同種更新】	1,200	森ヶ原～錦町間 50m	400			800
軌道道床	MTTによる総つき固め	13,290	森ヶ原～錦町間 2,800m	4,430			8,860
車両	車輪交換	9,000	3002号、3003号 2両	3,000			6,000
小 計		49,990		16,663	0	0	33,327
合 計		80,290		26,763	5,050	15,150	33,327
負担率(%)		100%		33.33%	6.29%	18.87%	41.51%